



ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を

FUJIEDA SOUTH ROTARY CLUB

藤枝南ロータリークラブ会報

例 会：毎週金曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL：054-641-3321
 事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL：054-647-2300 FAX：054-647-2040
 E-mail: club1991@fujieda-rotary.org

会長：早川 清人 副会長：伊藤 彰彦 幹事：松浦 正秋 副幹事：渡邊 芳隆

第1076回



<http://www.fujieda-rotary.org>

- ソング 四つのテスト・トロイカ
- ソングリーダー 杉浦 聡君

■ 会長報告

早川 清人君

皆さん、こんにちは

大雪が全国各所に被害をもたらしました。この大雪で各種物資の輸送にも支障をきたし、スーパーやレストランで提供できない商品案内の張り紙が乱舞し、日常の食生活に大きな打撃を招いております。また、山間部を中心としてライフラインが遮断された地域での惨状も目の当たりにしました。静岡県内でもこのように孤立した地域が存在したとの報道に心痛めたものでした。近時の異常気象と共に自然の猛威には唯々驚かされるばかりです。しかし、この異常気象も恒常化した現在においては、想定外とばかりは言ってられないのではないかと思います。現に、北海道などでは冬のシーズンにおいては日常的事象であり、その地域の方々はその環境と共に暮らさざるを得ないわけです。その点、静岡は恵まれています。それを自覚しないといけないのではないのでしょうか。その恵みを当然と考え、異常時の備えを怠ってはなりません。前向きに対応する姿勢こそが肝要であると考えているところです。

さて、話は変わり、若い者を育てるべく奮闘するも空回りが多いというお話しをよく耳にします。指示しても何でやらないのか。自分で判断して何故やらないのか。等々嘆かれているわけです。この「やらない」ということですが、実は、やらないのではなく「やれない」なのではないのでしょうか。「やれない」ならばやるわけはないのであって、単に無理を強いていることになっ



てしまいます。若い方々を自分の物差しで測ってはいけないのではないのでしょうか。「やらない」若者を、「やれない」から「やれる」にしてあげると云う私たちの意識の変革が必要かと思いません。正に、恵まれた地域静岡でこそ、より多くの優秀な人材を育てていきたいものです。それが即ち地域活性化への早道のように感じています。本日は時間が押して参りました。残念ですが、今回は日本神話や法律のお話しをお休みさせていただきます。以上、会長挨拶と致します。

■ 出席報告

桑原 茂君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
33/46 71.74%	38/46 82.61%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

- 朝比奈君 ○池谷君 ○鈴木寿君 ○竹田君
- 寺田君 ○富澤静君 ○藪崎君 ○山田君
- 渡邊芳君 江崎君 川口君 樽井君 森竹君

(2)メイクアップ者

早川 清人君(焼津南) 松浦 正秋君(焼津南)

■ 外部卓話

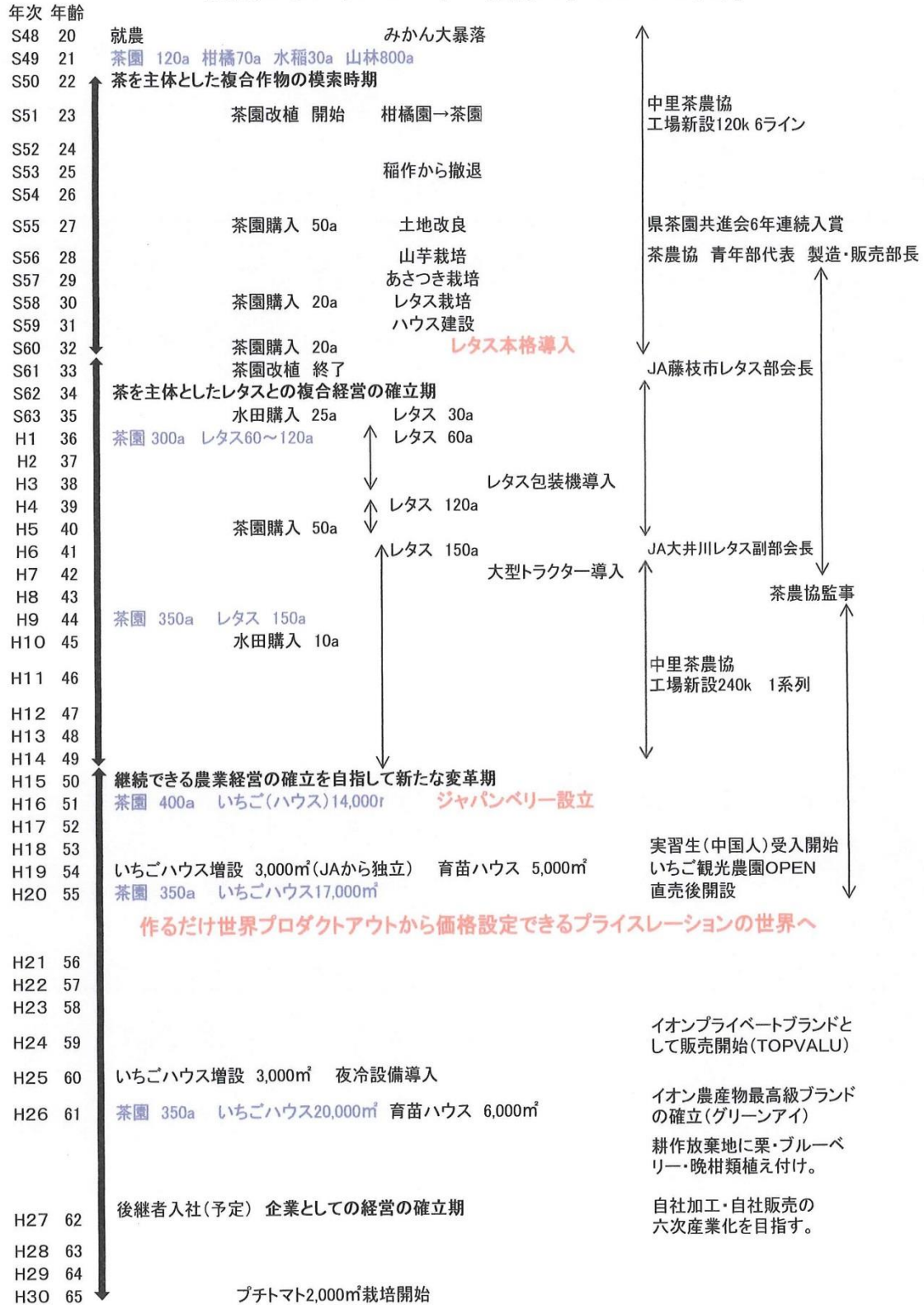
農事組合法人

ジャパンベリー

上山 優 代表理事



就農からジャパンベリーを設立するまでの経緯



■ 今週の一言

多々良 睦生君

【私の欲しいもの】

2年前に運転免許証を返し、船も陸から船に乗る時足元が不安になり卒業しました。

年々運動神経が衰えていくのを感じ、その為足腰を強くしたいと思い、プールと散歩を始めました。

“瘋癲の寅さん”になったつもりで、色々な所を歩いています。

知人に歩いているのか、徘徊しているのか？と聞かれますが、私の場合は両方だと思います。

いざ鎌倉と言う時の為に、足腰を鍛えています。

■ 本日のお食事



例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
2/28(金) 第 1077 回	同好会活動報告	
3/7(金) 第 1078 回	会員卓話	理事会 3/2 第 5 分区IM
3/14(金) 第 1079 回	PETS報告 会員卓話	
3/21(金)	年休会(祝日)	

(担当/桑原君)